



加 監 発 第 5 8 号  
平成 2 8 年 3 月 1 1 日

加 須 市 長 大 橋 良 一 様  
加 須 市 議 会 議 長 福 島 正 夫 様  
加 須 市 教 育 委 員 会 教 育 長 渡 邊 義 昭 様

加 須 市 監 査 委 員 秋 本 政 信

加 須 市 監 査 委 員 平 井 喜 一 朗

平成 2 7 年 度 定 期 監 査 の 結 果 ( そ の 1 ) に つ い て ( 報 告 )

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づく定期監査を執行したので、同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

## 平成27年度定期監査結果(その1)

### I 監査の対象

(小学校6校)

大桑小学校、水深小学校、樋遣川小学校、志多見小学校  
種足小学校、大和根東小学校

(中学校2校)

加須東中学校、加須平成中学校

### II 監査の期間

平成27年5月26日～平成28年2月29日

### III 監査の範囲及び基準日

平成26年4月1日から平成27年4月30日までに執行された平成26年度及び平成27年度の財務に関する事務の執行状況並びに平成27年度の学校経営の状況

### IV 監査の方法

学校の現状や財務状況を検証することを主たる目的とし、財務に関する事務の執行及び学校経営に係る事業の管理について、関係法令等に準拠し適正かつ効率的、経済的に行われ、さらに学校教育目標に向かって合理的に運営されているかについて監査を実施した。

実施に当たっては、必要な資料及び関係書類の提出を求め、事前に事務局監査を実施し、備品類等の実地確認を行うとともに、各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取して行った。

### V 監査の結果

財務関係事務が関係法令等に準拠して執行されているか否かを主眼として予算執行状況、監査調書を基に照合を行った。併せて学校経営に係る事業の管理について、学校教育目標に対する効果や、経営の経済性、効率性に着眼し監査を行った。その結果、予算の執行状況、学校経営状況等については、適正かつ効率的に執行されていたことを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

## 1 総括的事項

各学校とも学校教育目標及びグランドデザインを明確に定め、学校規模、校風や地域の実状等に則した努力や工夫を重ねて学校運営が行われている。また、校長のリーダーシップの下、学校における職員会議や運営委員会等においては、教職員間の情報の共有化等が図られているとともに、教職員と児童・生徒が教育目標に向かって、一緒になって取り組んでいる姿が見られた。

このような中、保護者等に対しても、これまで以上に学校経営・教育目標の共通理解を図り、その結果の検証・評価を行い、よりよい学校づくりに尽力されたい。

また、少子化がさらに進み、核家族化・生活様式の多様化も見受けられる。

各学校とも学校評議員、ふれあい推進長、学校応援団の協力・連携をより一層深め、地域とともに歩む教育に尽力されたい。

今後、学校施設の老朽化等による修繕改修の増加が見込まれるため、関係部署と適宜協議しながら計画的に必要な措置を講ずるよう努められたい。

加須市いじめの防止等のための基本的な方針に基づき、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの教育相談体制を活用し、各学校、地域や家庭等が一体となり各地域相互間の連携協力体制の充実を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解消に向け尽力されたい。

さらに、学校給食費の未納問題は、各学校での取り組みによって、大きな成果が得られている。今後も引き続き、未納解消に向けて尽力されたい。

なお、全体の学校運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

## 2 学校運営状況について

### (1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

なお、ベテランの教職員が多く退職している中、新任教職員の育成、勤務年数のバラつきなどへの対応として、教員研修及び学習指導研究などへの参加並びに学校独自に教職員の自主研究発表会等の開催など、教職員の資質向上に努められている。

また、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

### (2) 学校給食費等について

学校給食費、積立金やPTA会費等については、原則、保護者の金融機関の口座から引落しが行われており、その保管や取扱いについて、管理職によるチェック体制の下、執行されている。

学校給食費の未納については、対応マニュアルに基づき、適切な債権回収が行われるなど確実な対応により、成果が上がっている。

### (3) いじめ・不登校について

いじめ・不登校については、一部の学校で報告があったが、全体的には、相談体制の整備や迅速な対応等により、予防、早期解決、改善が図られていた。

なお、「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組みについては、引き続き、関係者等の連携を強化するとともに、各学校の実情に応じた具体的な方策を展開されたい。

### (4) 学校評議員制度等地域との連携について

学校評議員制度は、自治会をはじめとする地域の関係団体等の代表者で組織されており、年3回程度会議が開催されている。

その会議では、学校の経営状況や地域との交流状況などの説明、時には運動会や授業等の参観なども行われている。

これらを通じて、評議員から寄せられた様々な意見や要望が、学校経営に生かされている。

また、保護者・地域住民がボランティアとして組織する「学校応援団」は、学習活動、安全確保、環境整備など様々な場面で学校との連携が図られている。

### (5) 施設管理について

学校施設(遊具や運動用具等も含む。)の安全管理については、毎日の巡視のほか、安全点検表により定期的な確認が行われているとともに、危険箇所や破損等が発見された場合には、速やかに使用の中止、修繕等が行われている。

なお、一部の学校においては、校舎の雨漏りやトイレの水漏れなど修繕が必要な箇所が見受けられたので、適切な対応を図られたい。

### (6) 児童・生徒の登下校時の安全対策について

登下校時における児童・生徒の安全対策については、通学路の危険箇所の確認のほか、集団による登下校、PTAや学校応援団をはじめとする地域の方々による交差点での立哨や登下校時の付添いなどが、行われている。

### (7) 図書について

児童・生徒が、考える習慣を身に付けられるように、朝の読書タイムや総合的な学習の時間等において、創意工夫ある取組が行われている。

また、「加須市子ども読書活動推進計画」に基づき、身近な学校図書館の利用促進を図る取組も行われている。

### (8) 備品等の管理について

学校には、机・ロッカーをはじめとした管理用備品や教材用備品等が数多く備えられている。それらの備品については、台帳への正確な記載や定期的な確認がされており、適正な管理と有効な活用が図られている。

なお、一部の学校においては、長い間使用していない備品も見受けられたので、廃棄等を含め取扱いを検討されたい。

理科薬品については、薬品庫は施錠がされ管理簿により適正に管理されていた。

### 3 各学校の個別的事項について

#### 大桑小学校 児童数 445 人（学級数 15 学級）

- ・ 児童が自主的に活躍できる場を増やし、児童の隠れた力を引き出す教育に取り組まれている。また、運動会や修学旅行時に、児童が様々な役割や責任を持ち自ら考え行動ができるなど、「徹底した児童主体の教育」が実践されている。
- ・ 教職員校内研修制度を実施することにより、校長をはじめ教職員がこれまでの教育内容を一つ一つ見直し、改善を加え実践するなど、組織的にスキルアップに取り組まれている。
- ・ 多機能トイレの水漏れや夜間開放している外トイレの排水修繕等については、関係部署と協議しながら適切に対応されたい。

#### 水深小学校 児童数 511 人（学級数 16 学級）

- ・ 経営方針の一つとして、三つの自慢「あいさつ」・「そうじ(雑巾がけ)」・「くつそろえ」を掲げ、「学力向上・心身鍛練、地域密着型教育」を実践している。なお、「群読発表会」や「水深フェスタ」などを地域に公開し、また、児童が夏祭り等地域行事に参加するなど積極的な地域交流を行っている。
- ・ 校内の各掲示版を地域との「かけはし」として活用し、教職員のコンセンサス 5 か条の一つである「教職員マニフェスト」を玄関に掲示するなど、学校教育活動の情報を積極的に発信している。引き続き、学校の教育活動に関心を持ってもらえるよう、保護者及び地域住民への PR 活動に努められるとともに、更に地域との絆を深められたい。
- ・ 今後、児童の増加に適切に対応できるよう、施設や備品の整備については、関係部署と協議しながら計画的に進められたい。

#### 樋遣川学校 児童数 172 人（学級数 6 学級）

- ・ 児童の安全対策の一つとしてソーシャル・ネットワーキング・サービスの情報発信・収集に着目し、災害時におけるツイッターによる情報手段の確保に取り組まれている。なお、利活用について通信情報セキュリティーを万全にするよう努められたい。
- ・ 加須市の偉人である「斉藤与里」の母校として、学校のオープンスペースに絵画を展示したギャラリーを設け、児童の情操を養う場として力を入れている。引き続き、郷土への愛着を深めるとともに、著名人を輩出した母校に誇りを持つ教育を推進されたい。
- ・ 備品については、備品台帳に既に廃棄されている物や長期間使用していない物も見受けられたので、廃棄等を含め取扱いを検討されたい。

**志多見小学校** 児童数 150 人 (学級数 6 学級)

- ・ 安心安全応援団員に感謝状を贈呈し、感謝の意を示しているが、今後も地域ボランティア団体との絆を深め、様々な活動に対する連携強化を図っていただきたい。また、学校応援団員の減少については、地域人材の確保に努められたい。
- ・ 教職員の共通行動指針として「5 S (賢明な判断、迅速、誠実、奉仕、微笑み) で信頼される学校づくり」を定め実践している。また、児童の安全対策等については「生徒指導五則 (最悪の状態を想定して・慎重に・スピードを持って・誠実な・組織で)」を「2時間ルール対応」により、実践されている。
- ・ 校舎の雨漏りによる修繕等や学校周りの高木植木等の整枝剪定について、関係部署と協議しながら適切に対応されたい。

**種足小学校** 児童数 200 人 (学級数 9 学級)

- ・ 学校経営プランの研修課題として「人が好き、命が好き、地球が好きーみんな大事な地球の仲間ー」を掲げ、東日本大震災の被災地にて海岸防災林の再生のための植林等、災害復興と防災意識を高める修学旅行を実施するなど、体験的な学習指導に取り組まれている。
- ・ 板垣退助氏が来校した伝統ある学校を誇りとし「種足の未来を託す人づくり」の経営方針の下、家庭、地域、学校の連携が図られている。また、通学区が広く、交通安全・防犯、雷雨など災害等が懸念されるので、引き続き、PTA、学校応援団等地域との連携を密にし、場面想定した対応マニュアルを活用しながら、児童の登下校の安全を図られたい。
- ・ 埼玉県立騎西特別支援学校等との交流活動を 20 年間継続しているが、この活動は、児童相互に人格と個性を尊重し合える社会性や豊かな人間性を育成する上で、重要な役割を果たす共同学習である。引き続き、交流事業の内容を充実し展開されたい。

**大利根東小学校** 児童数 267 人 (学級数 12 学級)

- ・ 学校経営のグランドデザインに、スマイル (Smile) & スイフト (Swift) [笑顔と素早い対応] をモットーとして、教職員の理解と協力を得て学校運営に前向きに取り組んでいる。
- ・ 家庭、地域、学校の連携がよく取られていて、挨拶の向上、校内の美化、登下校時の安全確保等が適切に行なわれている。今後、「いつでもどこでもさわやかなあいさつをしよう」を合い言葉に、あいさつ運動を展開し、引き続き、地域等と一体となった教育活動に尽力されたい。

**加須東中学校** 生徒数 248 人 (学級数 8 学級)

- ・ 「東中まごころプラン」に基づき、生徒の健全育成に向けた教育相談活動の実践については、教職員と生徒・保護者が良好な関係を保ち、教職員がチームを組んで課題の解決に取り組まれている。今後も、教育相談活動の充実を図り信頼される魅力ある学校づくりを推進されたい。

- ・ 学校経営スローガン「Rising Sun 東中 ～明日を拓く 東の風 昇る陽のように～」をタイトルとした第 2 校歌の合唱活動は、全校生徒の一体感を醸成しており、今後も、充実に努められたい。
- ・ 生徒の安全確保については、通学路に PTA 役員や地域の方々が定期的に立哨している。また、自転車安全講習や交通安全教室等が実施されている。今後も、生徒一人ひとりが自ら交通事故防止に努め、安全行動に対する意識を高められたい。

**加須平成中学校** 生徒数 374 人（学級数 13 学級）

- ・ 教科教室制の特色を生かした授業や職員室代わりの学習センター方式が実践され、生徒の学習意欲を引き出して、主体的に学ぶという学習姿勢が育つよう学習指導に取り組まれている。今後、教科教室等の特色を見直し、生徒の個性を伸ばす確かな学力育成に尽力されたい。
- ・ 学校応援団等による校内美化、朝読書や家庭学習習慣の定着、教職員の研鑽による授業の充実等により、生徒を取り巻く環境が改善されている。
- ・ 築 20 年が経過しているが、施設修繕については、計画的に対応されている。机や椅子をはじめとする特別仕様の備品については、廃棄等を含め取扱いについて関係部署と協議し、計画的な利活用を図っていただきたい。